

## 地域医療体制について（H19・7・8 文教民生常任委員会報告）

### 1. 糸魚川総合病院の混雑緩和に向けた対応

#### ①外来患者の状況

姫川病院内科の診療が停止した6月5日以降月末までの、糸魚川総合病院内科の新患数は前年度対比137名増(+49%)となっていて、完全に閉院した7月1日から7月16日の間では、164名増(+96%)となっています。

#### ②主な取り組み経過

- ・ 6月28日 県知事要望 緊急医師派遣について
- ・ 6月29日 厚生労働省要望 //
- ・ 7月10日 富山大学要望 医師の確保について(6/8,6/12にも訪問要望)
- ・ 7月11日 開業医巡回バス運行（～7/24は1台運行、7/25～2台運行）

関連して

- ・ 7月2日 新潟県知事 災害並みの対応を記者会見で明言
- ・ 7月4日 県立中央病院から院長及び医師1名が派遣調査に訪れる。但し、その後の対応は未定。富山大学からの医師派遣の状況などを含めて総合的に判断するという。

#### ③今後の取り組み

- ・ 医師確保についての働きかけ
- ・ 循環器患者対策を含めた混雑緩和の取り組み  
上越総合病院等へのバス運行の検討  
(糸魚川総合病院での循環器か受入可能患者数を上回る分を上越総合病院等で受け入れてもらう。)

### 2. 姫川病院の状況

- ・ 7月9日 6月30日付病院廃止の届出
- ・ 7月10日 市に民事再生断念の報告
- ・ 7月13日 医療生活協同組合臨時総代会

### 3. 今後の地域医療体制の課題

#### ①循環器医療を含めた2次救急医療の充実

当面、糸魚川総合病院を充実する方向で地域医療体制の確保を図る。

6月4日の閉院宣言の直後は、姫川病院跡を老人保健施設に転換し、糸魚川総

合病院(厚生連)の協力を得て診療所を開設する方向に進んでいましたが、姫川病院理事会で「民事再生法適用を視野に入れる」ことを発表した段階で、富山大学などの不信感をかってしまい、医師派遣の見込みが立たなくなっていました。

そこでゼロに還っての再検討となったわけで、現在は糸魚川総合病院の充実を図る方向で検討を進めています。

## ②姫川病院施設の再利用

高度医療機器はそのままの状態が残っています。高齢社会を迎えている現状で、当初の老人保健施設や診療所開設も視野に入れていますが、法律下の管理状態にある施設なので、今後の推移を見守りながら、検討することになる。

## ③医師確保

医師確保については市が主体となって動きますが、実際の雇用・契約は医療機関が主体となります。従って、医師の働く環境、生活環境の改善・確保について、市がどこまで出来るか検討しながら実行していくそうです。

以下、私の質問と答弁の要約です。

### 【質問】伊藤 文博

この4月の段階で、2億円×3年間の補助を糸魚川市に求めてきた民間医療機関が、何の相談もなく破産・閉院を決定しました。その後の地域医療に対する影響、市民の財産に対する影響をどのように考え、糸魚川市としての関わり合いの限界を含めてどのように考えて対処してきたのか。

### 【答弁】荻野健康増進課長 小林市民生活部長

これまでの糸魚川市として支援してきたものは、赤字補填ではなく高度医療機器購入や病院群輪番制対応に対する補助として行ってきた。2病院制の確保が最重要課題であったので6億円の要請は断って、ソフトランディング(軟着陸)を試みたのが2億円の補正予算でした。

何の相談もなかったことに対しては「寝耳に水」であり遺憾に思うが、民間の理事会での決定でもあるので、市としては関わる事が出来なかった。

### 【質問】

市民の財産に対する影響をどう捉えて対応していますか。

### 【答弁】

これに関しては、民間医療機関の経営責任の範囲であり、市としてそこに関わる事は出来ない。相談に見えた方には色々説明している。

**【質問】**

相談窓口を設けることは出来ないか。

**【答弁】**

それは考えていません。

**【質問】**

専門的な相談先を紹介するなど考えて欲しい。被害者となった市民は、自分がどのような状況にあるのかすら分からないで心配しているので、対応してほしい。

**【答弁】**

組合債の債権者を対象とした説明会が予定されているので、その後の経過を見て対応したい。

\*\*\*\*\*その他の質疑の後で\*\*\*\*\*

**【質問】**

先ほどからの答弁を聞いていると「医師確保」が最優先だと言っている。この話は過去の2年間も同じことを言ってきた。

糸魚川総合病院の樋口院長は医師確保のためには働きたい環境を整えることが大切であると言って「救急救命センター」の新設を提案していました。また、姫川病院の新保院長は同じ理由で「循環器センター」の新設を提案していたわけです。この話を文教民生常任委員会で問いかけたところ、「そんなことよりも今は医師確保しかない」といって現在の事態を招いたわけです。

今回は、「医師確保」には何が必要なのかを良く検討して、市として出来る対策を十分に講じていただきたい。

**【答弁】**

市として何が出来かを十分に検討して対応したい。救急救命センターのスタイルも変化してきていると思うので、検討が必要でしょう。この地域全体と県の医療体制も含めて検討し、県に要望するところはして行きたい。